

第25回 明治大学小史展

明治大学史資料センター

コレクション展

会期 2008年12月～2009年5月末まで

会場 駿河台キャンパス 大学会館1階

主幹 総務部総務課大学史資料センターグループ

明治大学史資料センターには、多くの方々のご好意によりまして、たくさんの資料が寄贈・移管されております。今回的小史展では、その中から、これまでご紹介できなかつたものを中心にご紹介させていただきます。

ただ、何分にも展示スペースに限界があるために、全ての資料をご紹介することはできませんでした。次回以降の小史展や企画展等で極力ご紹介させていただきたく思っております。

なお、展示の内容に関するお問い合わせは、大学史資料センターグループまでお願ひいたします。

総務部総務課大学史資料センターグループ



駿河台キャンパス（1958年）

展示資料の紹介

1 須原屋茂兵衛版 安政6年江戸大絵図（1859・安政6年）

幕末期の1859（安政6）年の江戸の町並みのようすを窺い知ることができます。現在の御茶ノ水周辺は武家の屋敷地でした。

2 『駿台雑話』（1750・寛延3年）

有名な幕府の儒学者である室鳩巣は、現在の駿河台キャンパス・アカデミーコモンとその周辺に居を構えていました。彼の代表作『駿台雑話』は、このことにちなんだ書名です。

3 駿河台月夜

江戸名所48景のひとつ「駿河台月夜」です。

4 明治法律学校南甲賀町校舎（1894・明治27年）

明治14年に開校した明治法律学校は、当初現在の有楽町2丁目にありましたが、学生数の増加によって校舎が手狭になると、神田駿河台の南甲賀町に移転しました。

5 ニコライ堂から望む明治法律学校（1891・明治24年）

南甲賀町校舎時代の明治法律学校の写真です。当時の校舎は、現在のリバティタワー向かいの場所です。

6 『慶雲集』（1930・昭和5年）

草創期の明治法律学校を支えたひとりである名村泰蔵の23回忌の際に出版された冊子です。

名村は本学経営の功労者ですが、貴族院議員としても著名な実業家です。



名村泰蔵

7 明治法律学校時代の記念写真（1890・明治23年）

最前列右から4番目が名村泰蔵です。ちなみに、同列の1番右に矢代操、左から6番目に岸本辰雄の姿が見えます。

8 絵葉書「明治大学風景」（昭和戦前）

3代目（旧）記念館の春夏秋冬がデザインされた絵葉書です。

9 山田斂『晚成園隨筆』(1942・昭和17年)

開校当初の明治法律学校卒業生である山田斂の自伝です。数寄屋橋に校舎があった当時のようすについて書かれています。

10 笹川臨風『明治還魂紙』(1946・昭和21年)

明治大学講師として教鞭も執った笹川臨風の戦後の著書です。「めいじすきがえし」と読みます。

11 笹川臨風書簡(1932・昭和7年)

三田村鳶魚に宛てた書簡です。

12 昭和30年頃のテキスト

昭和30年頃、法学部の講義で使用されていたテキストです。

13 昭和30年頃の駿河台キャンパス(1958・昭和33年)

記念館の勇姿とともに、各学部校舎や大学院棟が見えます。周辺には民家も点在していました。



生田キャンパス（1955年頃）



和泉キャンパス（1958年頃）
校舎手前を流れているのは玉川上水です。

〔編集・発行〕 総務部総務課大学史資料センターグループ
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
電話 03-3296-4329 FAX 03-3296-4086
URL <http://www.meiji.ac.jp/history/>

〔発 行 日〕 2008年12月8日
〔印 刷〕 二葉印刷有限会社